

① 2015年末の大掃除実態と掃除の理由

- ・実施率は56.9%、過去3年間で最低。女性は大掃除を“日頃の掃除の補完作業”として取り組む。
- ・今年の12月23日～25日は3連休。12月17日&18日の土日での大掃除がオススメ。

2015年末の大掃除実施率は56.9%で、過去3年間で最も低い実施率となりました。**大掃除をした理由は「気持ちよく新年を迎えたいから」**が40.3%で最多で、**男女ともに1位（男性:44.1%、女性:36.8%）**でした。女性は僅差で「**普段の掃除で行き届かないところをキレイにしたいから**」（36.3%）が2位だったことから、女性は大掃除を日頃の掃除の補完作業として取り組んでいる様子がうかがえます。

一方、**大掃除をしなかった理由は「時間がなかった」（31.7%）**が最多でした。例年、全体の約5割の人が12月の最終週に大掃除を実施しており、中でも仕事納め直後の土曜と日曜が最も高い実施率となっています。2016年は12月23日～25日が3連休で、大掃除の時間を確保しにくいことが予想されます。そこで今年は、**クリスマス前の週末である17日（土）と18日（日）に大掃除を実施する『クリスマス前週大掃除』**をオススメします。掃除用具や洗剤の準備不足や、ゴミ収集のタイミングに合わず年末にゴミを出せないなどの状況を避けることができます。家がキレイな状態で、クリスマスと年末年始を迎えてみてはいかがでしょうか。

図1：2015年末の大掃除実施率

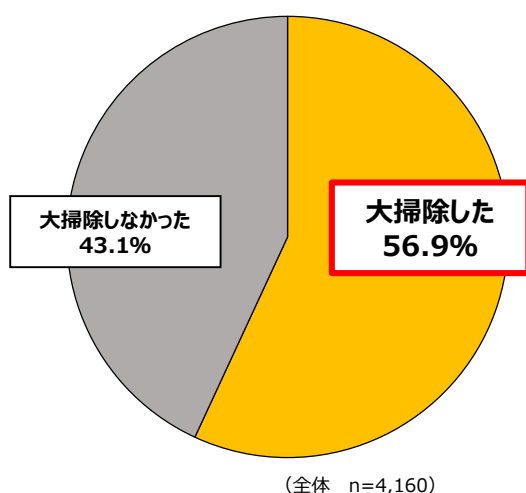


図2：大掃除をした理由

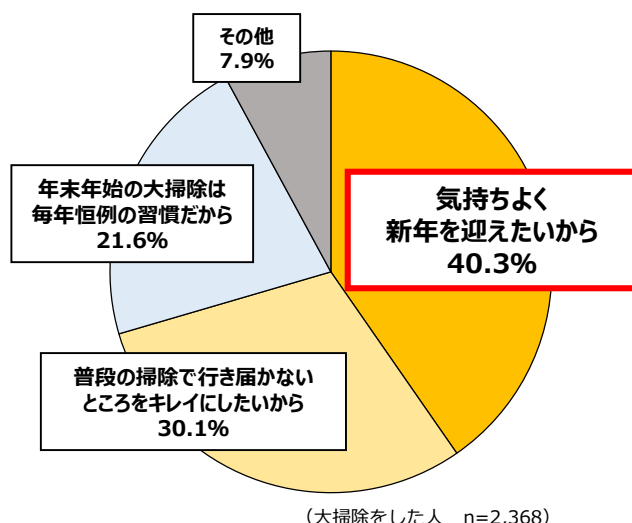


図3：大掃除をしなかった理由

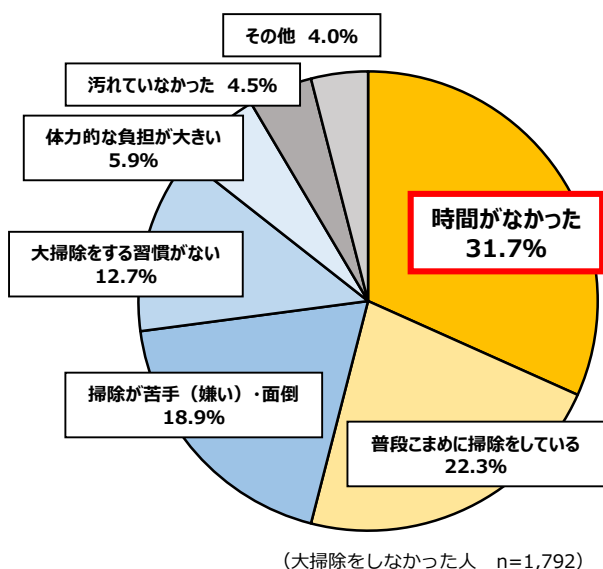


図4：今年オススメの大掃除スケジュール

〔2016年12月〕

月	火	水	木	金	土	日
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

12月4日までに掃除場所や方法、担当者などの「大掃除プラン」を作成しましょう

12月11日までに掃除用具と洗剤を揃えましょう

大掃除実施推奨日
〔クリスマス前週大掃除〕

② 大掃除に費やした日数とその理由

- ・2015年末の大掃除に費やした平均日数は「3.1日」、総時間の平均は「8時間42分」。
- ・女性は、“時間面”と“身体面”の理由から、大掃除を複数日に分散。

2015年末の大掃除に費やした日数について聞いたところ、全体では「1日」が26.9%で最多、「3日以内」で大掃除を実施した人は全体の70.3%で、大掃除に費やした平均日数は「3.1日」となりました。男女別に見てみると、男性の1位は2014年末に続き「1日」で、女性は2014年末に1位の「3日」が2位に、2位だった「2日」が1位となり、より短時間でキレイにしたいという傾向が強まりました。世代別に見てみると、20代～50代の男性は「1日」が最も多く、60代以上の男性は「2日」が最多で、女性は20代・30代が「2日」、40代は「1日」、50代以上は「3日」が最多となりました。

それぞれの日数で実施した理由を見てみると、男性は「計画的に1日で実施した」一方、女性は「身体に負担をかけずに少しずつ大掃除をしたかった」と「1日に大掃除に取れる時間が限られていた」がそれぞれ30%以上となりました。年代別では、20代・30代は時間面で、50代以上は身体面での理由から大掃除を複数日に分散させており、40代はその移行期であるようです。

大掃除に費やした総時間の平均は「8時間42分」で、男女とも年代が上がるにつれ概ね掃除の時間が長く、60代以上は20代よりも約1.4倍の時間を費やしていました。

図5：大掃除に費やした日数（全体）

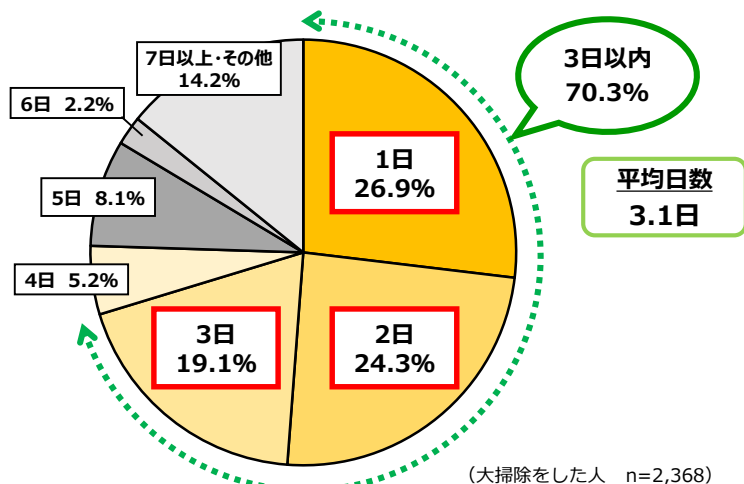


図6：大掃除に費やした日数（男女別）

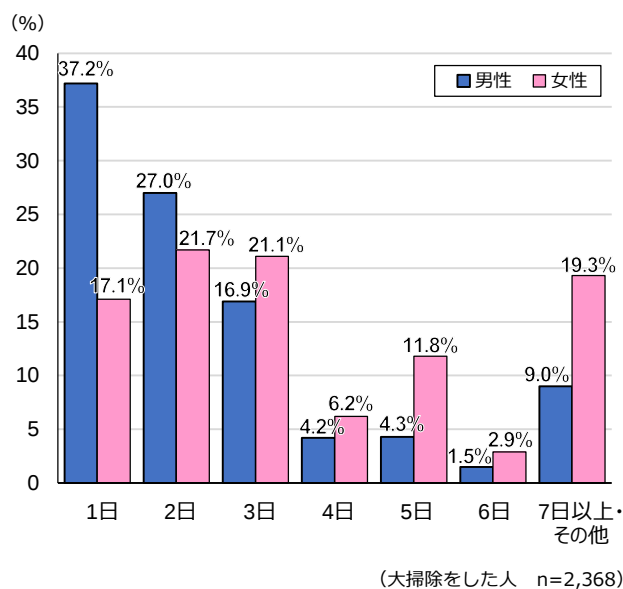
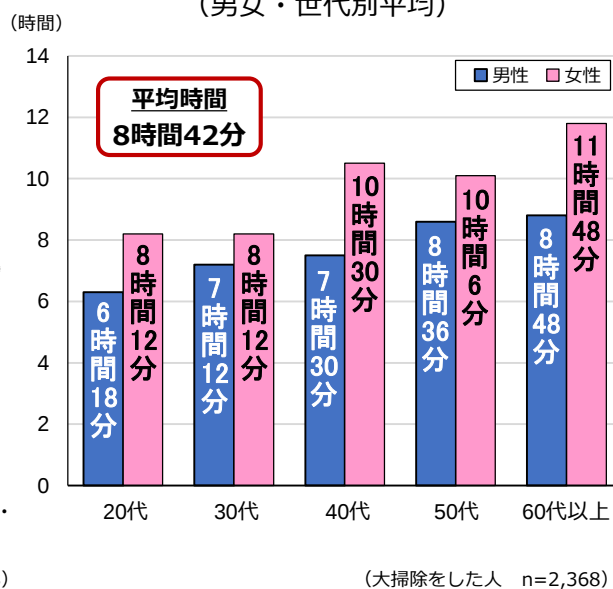


図7：大掃除に費やした総時間数（男女・世代別平均）



③ 大掃除で最も苦戦した場所と対策

- ・「浴室」と「トイレ」に苦戦。約4割が“汚れが落ちなかった”と回答。
- ・落ちない汚れに費やす時間は平均1時間48分。プロへの依頼もひとつの解決法。

2015年末の大掃除で**最も精力的に掃除した場所の1位は「レンジフード・換気扇」**でした。2位は「窓・網戸」、以下「キッチン」、「リビング・ダイニング」、「浴室」の順となりました。また、**最も汚れが落ちにくかった場所の1位も「レンジフード・換気扇」**で、2位以下は「キッチン」、「浴室」、「窓・網戸」、「トイレ」の順番でした。これら上位5カ所のうち、「レンジフード・換気扇」と「キッチン」は約8割、「窓・網戸」は約7割の人が汚れが落ちたと回答しました。一方、**「浴室」は46.5%の人が汚れが落ちなかったと回答**し、特に**女性では半数以上**に上りました。浴室のほか、「トイレ」も約4割の人が汚れを落とせず、**大掃除では「浴室」と「トイレ」に苦戦**していることがわかりました。最終的に汚れが落ちなかった人に最も落ちにくかった汚れの掃除にかけた時間を尋ねたところ、**平均で1時間48分**もかかっていた。短時間で効率良く複数の場所を掃除するために、場所ごとに取り組む時間の目安を決めましょう。目安の時間を超えても汚れが落ちない場合は、プロにハウスクリーニングを依頼することも年末の大掃除を成功させるひとつの手段です。

図8：「最も精力的に掃除した場所」と「最も汚れが落ちにくかった場所」

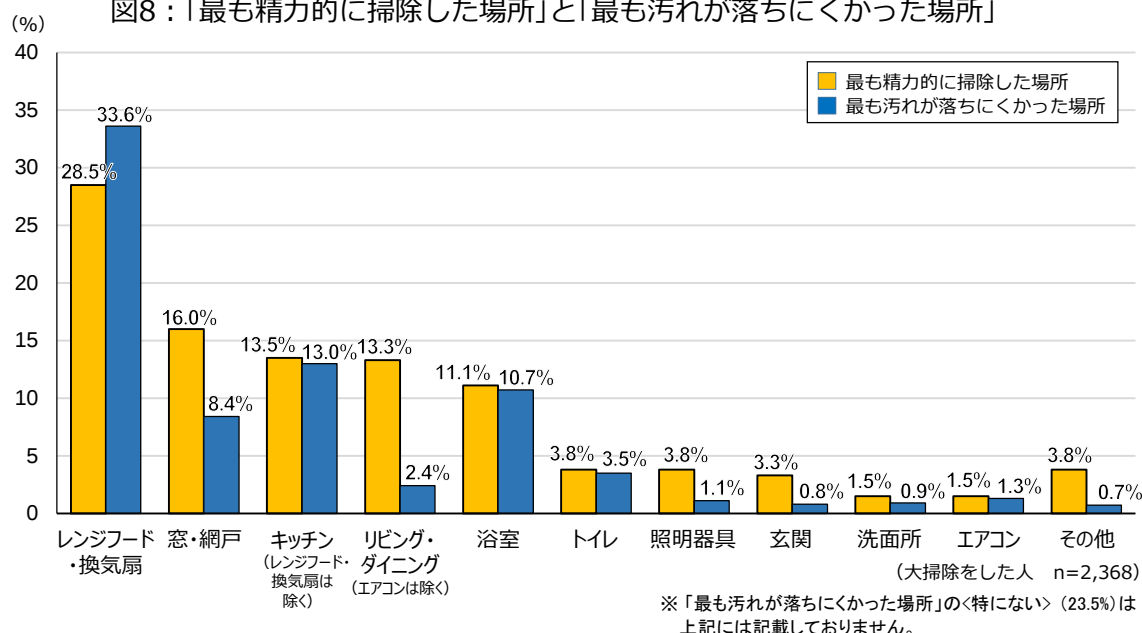
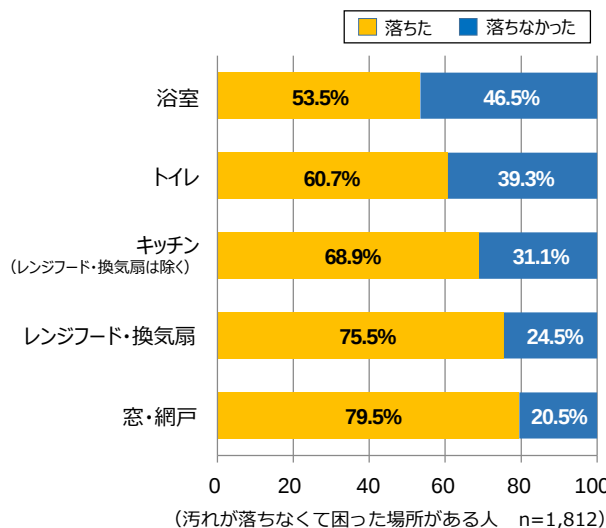
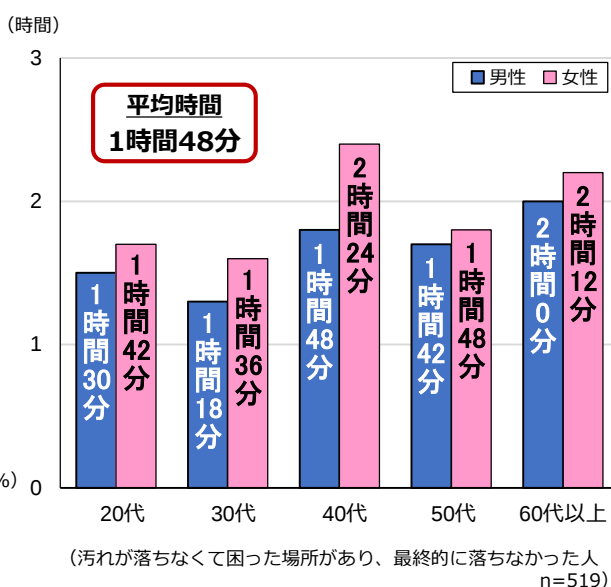


図9：最も落ちにくかった汚れが落ちたか？



※「最も汚れが落ちにくかった場所」の上位5カ所のみ抜粋し、汚れが落ちなかった割合が高い順で表記。

図10：最も落ちにくかった汚れにかけた時間



④「もっとこうすればよかった」ということ

・他人の大掃除の反省を、今年の大掃除の参考にしましょう。

2015年末の大掃除について「もっとこうすればよかった」ということを聞きました。実施時期や掃除効率、用具の準備などに関する反省点が多く寄せられました。それぞれの解消方法をダスキンがアドバイスします。

もっと早くから始めればよかった

- もっと早い時期に掃除を始めていれば、他の場所も掃除できた。(男性 27歳)
- もう少し時間に余裕をもって始めればよかった。(女性 44歳)

大掃除実施日を早めに決め、その日に向けて準備するとよいでしょう。不測の事態が発生しても、余裕をもって取り組みれば対応できます。今年は12月17、18日の週末がオススメです。

普段から掃除しておけばよかった

- もっと頻繁に窓ガラスや網戸の掃除を手伝っていれば、楽に掃除ができたかもしれない。(男性 65歳)
- 定期的に掃除をすれば、頑固な汚れに苦労なくて済んだかもしれない。(女性 51歳)

調理で飛び散ったコンロ周りの油污れや結露によって発生した窓ガラス付近のカビは、放っておくと落としにくくなります。汚れに気づいたら、こまめに掃除をしましょう。

計画的・効率的に掃除すればよかった

- タイムスケジュールを組んで作業をすればよかった。(女性 29歳)
- 家族の分担をもっと増やして、効率良くすればよかった。(女性 64歳)

大掃除の戦力になりうる方と同居している場合、事前に大掃除の担当場所を分担しておきましょう。また、場所ごとに掃除にかかる時間を予め設定しておくで「気づいたら1カ所しか終わらなかった」という事態を避けられます。

専用の用具・洗剤を準備しておけばよかった

- ガラス磨きの用具を買えばよかった。(男性 36歳)
- 洗剤をきちんと選ぶべきだった。(女性 24歳)

年末が近づくにつれ、掃除用具・洗剤が売り切れる可能性は高くなります。自宅にある掃除用具・洗剤の在庫や種類を確認した上で、必要なものを早めに準備することをオススメします。

やり残した所があった

- 窓や網戸の掃除を忘れていた。(女性 25歳)
- テレビの裏などの見えない部分の掃除が行き届かなかった。(女性 42歳)

なんとなく目に留まった場所から大掃除を始めるのではなく、まずは掃除が必要な場所をピックアップし、リスト化しましょう。終わった場所をチェックすることで、掃除のやり残しを防げます。

その他

- 部屋をキレイにするだけでなく、いらないものをどんどん捨てるべきだった。(男性 22歳)

ゴミを捨てられないまま新年を迎えることのないよう、自治体のゴミの収集日を把握しておきましょう。

- もっと暖かい季節に掃除することも考えればよかった。(男性 57歳)

窓や網戸は、水を冷たく感じない暖かい季節(春～秋)に掃除してしまうのも1つの選択肢です。

【 調 査 概 要 】

- 調査目的 : 2015年末の大掃除についての意識・実態把握
- 調査対象 : 20歳以上の男女
- 調査地域 : 全国(エリア区分: 北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査時期 : 2016年1月29日(金)～1月31日(日)
- サンプル数 : 4,160サンプル

※全データに対してn数30未満のものは参考値として記載